

令和2年度 大阪府立門真西高等学校 第1回学校運営協議会 議事録

《日時》 令和2年10月5日(金) 17時まで (メール・電話による書面協議)

《出席者》 委員

真野 正道 (寝屋川市教育委員 関西外国語大学)

鈴木 貴雄 (門真市教育委員会教育部 総括参事)

脊戸 利子 (門真市立第七中学校 校長)

杉井 信夫 (門真市立速見小学校 校長)

中内 恵 (本校同窓会代表)

石丸 哲生 (令和2年度本校PTA会長)

・事務局 (学校関係者)

校長 教頭 事務長 首席2名 教務主任 生徒指導主事 第3学年主任 (首席と兼務)

第2学年主任 第1学年主任

《委員からのご意見・質問》

- ・各取り組み報告や保護者アンケートの結果から確実に成果を出し、生徒の変容をもたらして、それが保護者の学校への信頼につながっていることがわかりました。
- ・学びの保障や安全対策などコロナ対応はどのようなことをされ、保護者の信頼につながったのか。コロナ禍は今年度の生徒の進路に影響を及ぼすのか。
- ・新学習指導要領の観点別学習評価と授業改善をどのように結び付けていくのか。
- ・学力の向上ならびに授業力の向上が、門真市の小中学校全体の課題でもありますので、この取り組みには注目していきたいと思っています。
- ・授業アンケートにおける満足度を定性評価として設定されていますが、合わせて、定期テストの点数など定量的な指標を定点観測していく必要はありませんか。中長期的な学力向上につながっていくと思います。
- ・「なりたい自分へGO!」は、学年に応じて、段階的に必要な学習を丁寧に行われていると感じます。中学生まで「憧れ」ていた職業や夢がかなわない場合の心の持ちようについて、新しい職業や仕事や生き方を知ることで、自分の可能性がさらにひろがったというようなプラスの方向になるような指導にも注力いただきたいと思います。
- ・情報リテラシーの啓発やマナー向上について、生徒会などが中心となって調べ、ルールをつくり、子どもたちからの発信するような取り組みや機会はありますか? 便利なツールなので、禁止ではなく、いかに上手に使いこなすか、高校生にはひとりひとりが積極的に考える機会がほしいし、自分たちで決めた約束を自分たちで守る習慣をつけたい。

- 会議までに事前に文書やデータを目に通せるのは大変有難いかもしれません。会議中の限られた時間では全てに目を通すことは難しいですので、データを予め目を通せるなど今後も出来るならいいかもしれません。
- 方針や経営計画などは今年度も大きくは変わりないと思います。数字を見せていただいた限りでは評価なども良くなってるように感じます。
- 一点、気になった点は、昨年度に引き続き、1学年における転学や退学数の増加です。原因等、あるのでしょうか。また、この点における対策などございますか。